

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		佛教大学		設置者名		学校法人 佛教教育学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況(平成25年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数	
						実数	個別		
仏教学部	仏教学科	60人	中一種免(社会)	平成22年度	46人	10人		5人	4人
			中一種免(国語)	平成22年度			5人		
			中一種免(宗教)	平成22年度			2人		
			高一種免(地理歴史)	平成22年度			1人		
			高一種免(公民)	平成22年度			3人		
			高一種免(国語)	平成22年度			5人		
			高一種免(宗教)	平成22年度			2人		
文学部	日本文学科	120人	中一種免(国語)	平成22年度	125人	61人		52人	25人
			高一種免(国語)	平成22年度			59人		
			高一種免(書道)	平成22年度			3人		
	中国学科	50人	中一種免(国語)	平成2年度	47人	9人		8人	5人
			中一種免(中国語)	平成2年度			3人		
			高一種免(国語)	平成2年度			6人		
			高一種免(書道)	平成12年度			0人		
	英米学科	70人	中一種免(英語)	平成2年度	81人	26人		24人	10人
			高一種免(英語)	平成2年度			23人		
			高一種免(中国語)	平成12年度			3人		
歴史学部	歴史学科	110人	中一種免(社会)	平成22年度	109人	47人		39人	13人
			高一種免(地理歴史)	平成22年度			43人		
			高一種免(公民)	平成22年度			21人		
	歴史文学科	70人	中一種免(社会)	平成22年度	72人	19人		11人	4人
			高一種免(地理歴史)	平成22年度			17人		
教育学科	教育学科	130人	幼一種免	平成2年度	173人	168人		45人	111人
			小一種免	平成2年度			142人		
			中一種免(社会)	平成12年度			22人		
			中一種免(数学)	平成17年度			39人		
			高一種免(数学)	平成17年度			29人		
			特支一種免(知・肢・病)	平成19年度			57人		
	臨床心理学科	60人	中一種免(社会)	平成22年度	66人	16人		6人	7人
			高一種免(公民)	平成22年度			5人		
			中一種免(社会)	平成16年度			29人		
社会学部	現代社会学科	200人	高一種免(地理歴史)	平成16年度	235人	43人		18人	16人
			高一種免(公民)	平成16年度			16人		
			高一種免(情報)	平成16年度			5人		
			中一種免(社会)	平成16年度			16人		
	公共政策学科	120人	高一種免(地理歴史)	平成16年度	136人	21人		14人	7人
高一種免(公民)			平成16年度	11人					
中一種免(社会)			平成16年度	22人					
社会福祉学部	社会福祉学科	270人	高一種免(地理歴史)	平成16年度	293人	64人		11人	32人
			高一種免(公民)	平成16年度			4人		
			中一種免(社会)	平成16年度			22人		
			高一種免(福祉)	平成16年度			3人		
入学定員合計		1,260人	合計		1,383人	484人	832人	234人	

大学名		佛教大学(大学院)		設置者名	学校法人 佛教教育学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成25年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業生数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
文学研究科	浄土学専攻	10人	中専免(社会)	平成2年度	1人	0人	0人	0人
			中専免(宗教)	平成2年度				0人
			高専免(公民)	平成6年度				0人
			高専免(宗教)	平成2年度				0人
	仏教学専攻	10人	中専免(社会)	平成2年度	6人	0人	0人	0人
			中専免(宗教)	平成2年度				0人
			高専免(公民)	平成6年度				0人
			高専免(宗教)	平成2年度				0人
	仏教文化専攻	10人	中専免(社会)	平成3年度	5人	1人	0人	0人
			高専免(地理歴史)	平成6年度				1人
	日本史学専攻	10人	中専免(社会)	平成2年度	5人	0人	0人	0人
			高専免(地理歴史)	平成6年度				0人
	東洋史学専攻	10人	中専免(社会)	平成2年度	1人	0人	0人	0人
			高専免(地理歴史)	平成6年度				0人
	国文学専攻	10人	中専免(国語)	平成2年度	5人	4人	0人	2人
			高専免(国語)	平成2年度				3人
高専免(書道)			平成13年度	0人				
中国文学専攻	5人	中専免(国語)	平成6年度	0人	0人	0人	0人	
		高専免(国語)	平成6年度				0人	
英米文学専攻	5人	中専免(英語)	平成2年度	3人	0人	0人	0人	
		高専免(英語)	平成2年度				0人	
教育学研究科	生涯教育専攻	10人	幼専免	平成6年度	6人	4人	0人	1人
			小専免	平成6年度				3人
			中専免(社会)	平成6年度				0人
			中専免(数学)	平成19年度				1人
			高専免(地理歴史)	平成6年度				0人
			高専免(公民)	平成6年度				0人
			高専免(数学)	平成19年度				1人
社会学研究科	社会学専攻	10人	中専免(社会)	平成2年度	6人	0人	0人	0人
			高専免(公民)	平成6年度				0人
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	10人	中専免(社会)	平成19年度	2人	0人	0人	0人
			高専免(公民)	平成19年度				0人
入学定員合計		100人	合計		40人	9人	12人	5人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成26年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

大学名		佛教大学（通信）		設置者名		学校法人 佛教教育学園		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（平成25年度）			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
仏教学部	仏教学科	300人	中一種免(社会)	平成22年度	13人	0人	0人	
			中一種免(国語)	平成22年度			0人	
			中一種免(宗教)	平成22年度			0人	
			高一種免(地理歴史)	平成22年度			0人	
			高一種免(公民)	平成22年度			0人	
			高一種免(国語)	平成22年度			0人	
			高一種免(宗教)	平成22年度			0人	
文学部	日本文学科	300人	中一種免(国語)	平成22年度	6人	0人	0人	
			高一種免(国語)	平成22年度			0人	
			高一種免(書道)	平成22年度			0人	
	中国学科	150人	中一種免(国語)	平成3年度	4人	1人	0人	
			中一種免(中国語)	平成12年度			1人	
			高一種免(国語)	平成3年度			0人	
			高一種免(書道)	平成3年度			0人	
	英米学科	300人	中一種免(英語)	平成2年度	33人	17人	16人	
			高一種免(英語)	平成2年度			17人	
	歴史学部	歴史学科	150人	中一種免(社会)	平成22年度	5人	1人	1人
高一種免(地理歴史)				平成22年度	1人			
高一種免(公民)				平成22年度	1人			
歴史文化学科		300人	中一種免(社会)	平成22年度	7人	0人	0人	
			高一種免(地理歴史)	平成22年度			0人	
	高一種免(公民)		平成22年度	0人				
教育学部	教育学科	1,000人	幼一種免	平成8年度	116人	71人	10人	
			小一種免	平成8年度			52人	
			中一種免(社会)	平成12年度			4人	
			中一種免(数学)	平成17年度			7人	
			高一種免(数学)	平成17年度			7人	
			特支一種免(知・肢・病)	平成19年度			11人	
社会学部	現代社会学科	500人	中一種免(社会)	平成16年度	10人	2人	0人	
			高一種免(地理歴史)	平成16年度			0人	
			高一種免(公民)	平成16年度			0人	
			高一種免(情報)	平成16年度			2人	
	公共政策学科	500人	中一種免(社会)	平成16年度	9人	0人	0人	
			高一種免(地理歴史)	平成16年度			0人	
			高一種免(公民)	平成16年度			0人	
社会福祉学部	社会福祉学科	1,200人	中一種免(社会)	平成16年度	72人	1人	0人	
			高一種免(地理歴史)	平成16年度			0人	
			高一種免(公民)	平成16年度			0人	
			高一種免(福祉)	平成16年度			1人	
入学定員合計		4,700人	合計		275人	93人	132人	
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成26年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。 ・教員就職者数は、通信教育課程であることから調査していないため不明。							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成26年7月17日（木）

実地視察大学：佛教大学

実地視察委員：渡辺三枝子委員、高岡信也委員

【全般的事項】

- 全学的に高い意識を持ちつつ、組織、施設の充実に努めながら教員養成に取り組んでいる状況が確認できた。
- 教育課程について、「2.」で指摘するように、教育職員免許法施行規則及び教職課程認定基準の観点から是正すべき点が確認されたため、その点については、速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教職支援センターに実務経験を有している者を含む専任のスタッフが配置されており、教職課程にある学生の支援を良好に行っているように見受けられた。
- 不適切な専任教員の配置状況が確認された。教職課程認定基準を満たすよう、速やかに是正すること。
- 通信教育課程においては在籍している学生が定員を上回る学科が多く、教育学部にあっては定員の4倍以上の学生が在籍していることが確認された。教員の負担及び教育の質を担保する観点から、組織体制を再考頂きたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 「教職に関する科目」について、教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「各科目に含めることが必要な事項」が含まれているか否か、シラバスからは判断できない授業科目があるため、法令で扱うこととしている内容は必ず扱うようにすること。なお、シラバスの記載の内容及び記載方針を定め、法令に定める「各科目に含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認できるようにすること。
- 各教科の指導法に関する科目について、該当する学習指導要領をテキスト又は参考資料として定めること。
- 「教育原論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「教育社会学」、「比較教育学」、「教育行政学」、「教育法規」について、学則等とシラバスの表記に齟齬があるため、適切に修正すること。
- 上記指摘の改善、今後の適切なシラバス作成の観点から、担当教員に任せるのではなく、シラバスの記載内容及び記載方針を全学的に定めた上で、チェック機能の改善を図るとともに、学生の教職に対する意欲を高めるような教職課程の更な

る質の向上に努めていただきたい。

- 通学課程の学生が通信教育課程との併修により異校種・異教科の教員免許取得が可能となっている履修方法が有効に機能していることが確認された。ただし大学教育の質保証の観点から、運営、学修の質については今後とも留意して頂きたい。
- 通信教育課程の授業科目において、教科書やテキストだけでなく配信授業も積極的に行い、より実践的な授業の実施に努めて頂きたい。また、特に生徒指導や教科の指導法といった授業科目に関しては積極的にスクーリングを行って頂きたい。

3. 教育実習の取組状況

- 母校実習を中心に行っているようであるが、実習生への訪問指導等はおおむね良好に実施されていることが確認された。一方、教育実習は、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。実習先の確保について、引き続き検討していただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 学生への教職指導については充実した組織、体制が確認できた。教職支援センターと他部署（教務課、学生支援課、進路就職課等）の連携を深め、学生への支援をより充実できるよう努めていただきたい。
- 通学課程の学生については「manaba folio」、通信教育課程の学生については「STTnet」という電子ポートフォリオを運用しており、学生の自己評価と指導教員の記述を電子的に蓄積できるようにするとともに、学生が履修した各授業科目と、大学の教員養成の到達目標とがどのような対応関係となっているのかを明示することとした点について評価できる。今後も、履修カルテの有効活用及び更なる充実に努めて頂きたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 「教育職インターンシップ」、「学校支援ボランティア」などの連携の他、京都市教育委員会とは早い時期から包括的協定を結んでおり「京都教師塾」にも多くの学生を参加させていることが確認された。教育委員会からの最新の情報を大学の各部署に準備するなどして、今後とも十分に連携を取って頂きたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- グループ授業を行うための座席配置がなされている教室で教科指導法の授業を行うことができるなど、充実した設備が確認できた。
- 教職に関する図書が学内の図書分類に基づいた配架がなされていたが、教職課程にある学生の便宜を考慮するという観点からも、教職に関する図書を集約する等、配置を御検討頂きたい。

7. その他特記事項

- 特になし